

# 乙 貞

第165号 通巻29巻 第2号  
平成21(2009)年7月1日 発行

守山市立埋蔵文化財センター  
Tel・Fax 077-585-4397

〒524-0212

守山市服部町2250番地

## 発掘調査速報!

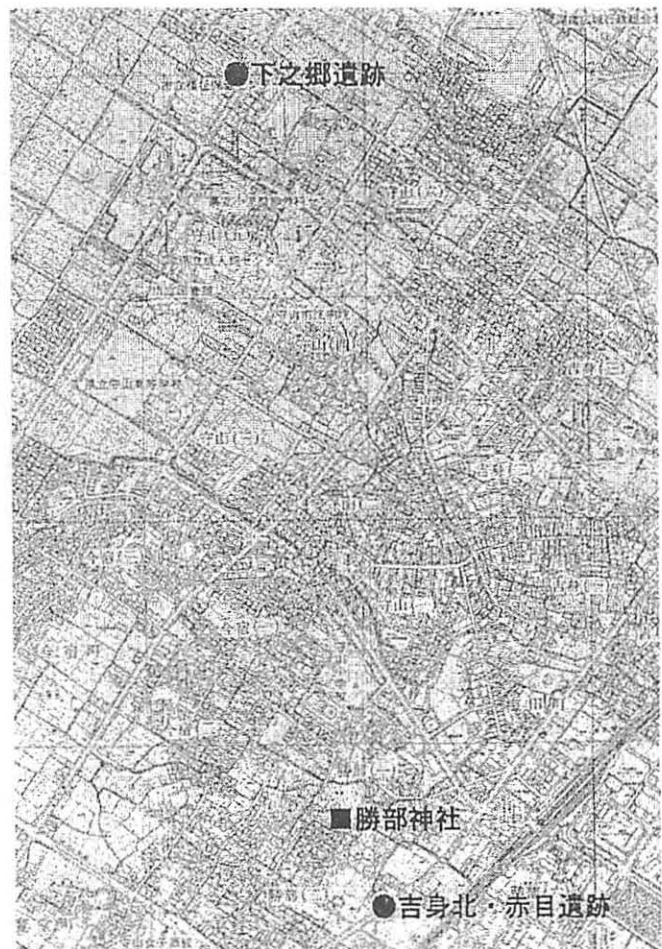
### 1. 吉身北遺跡・赤目遺跡

#### (1) 調査の概要

勝部二丁目字北十三地先において、分譲住宅用地造成工事に伴い、平成21年5月14日から31日にかけて約230㎡を対象に発掘調査を実施しました。調査地周辺は、野洲川がつくる扇状地の末端部付近に位置し、調査地の北側は吉身北遺跡、南側には赤目遺跡が広がっており、今回の調査地点はちょうど両遺跡の接点付近に所在しています。

#### (2) 調査の成果

今回の調査では、地表面から約50cm下がった砂礫層の上面で、古墳時代と室町時代の遺構を発見しました。古墳時代の遺構は、性格不明のピットや土坑を複数検出し、そこから後期の須恵器などが出土しています。一方で、室町時代の遺構は溝・土坑・多数のピット群を検出しました。これらの遺構からは、15世紀中葉から16世紀末葉にかけての遺物が出土しています。昨年度調査地点と図面を照合すると、溝は直角に屈曲して土坑に合流します。区画や水路などの機能を兼ねたものと考えられます。溝1内部から検出した土坑3は、底部に粘土が貼ってあることから水溜遺構が推測されます。一部のピットからは粘土塊が出土しており、土壁を塗った建物跡があったと考えられます。

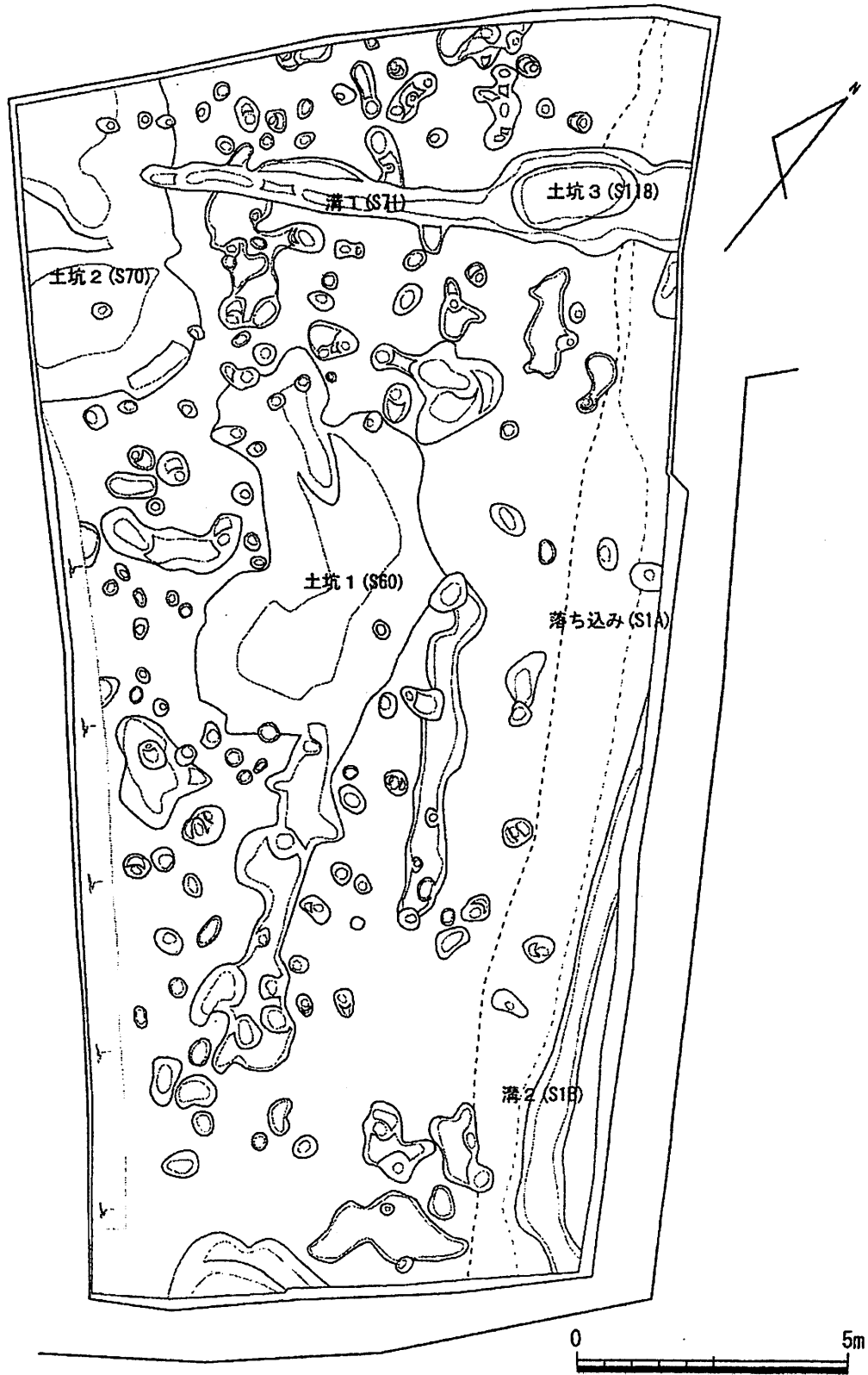


#### ▲調査位置図

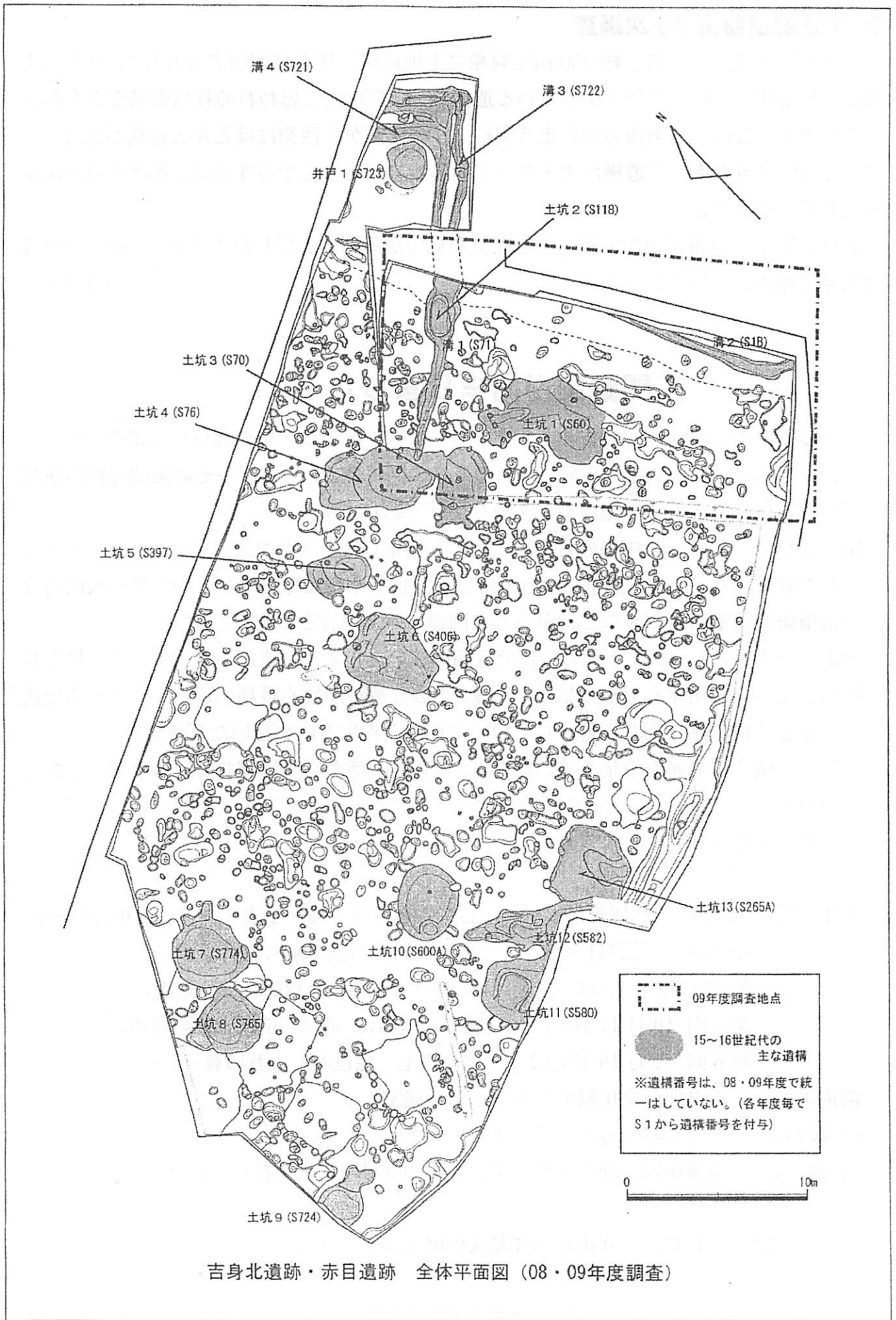
また土坑1・2からは、多数の遺物が出土しており、信楽焼の播鉢や青白磁碗などの生活雑器に加え、天目茶碗や信楽焼の水指といった茶道具など、一般庶民ではない有力層の生活の痕跡を裏付ける資料が見られます。

調査地の西側には勝部神社が近接しており、境内はかつて勝部城と呼ばれる中世城館が

1500年前後に築城されたとされています。16世紀代の平地に築かれた館は、集落の内部、若しくは隣接していたと考えられており、当該地に見られる同時期の遺構は、そのような城館に関わった集落と考えられるかも知れません。 (木下)



吉身北遺跡・赤目遺跡 遺構平面図 (09年度調査地点)



吉身北遺跡・赤目遺跡 全体平面図 (08・09年度調査)

## 2. 下之郷遺跡第 70 次調査

下之郷町地先において、約 250 m<sup>2</sup>を対象に宅地造成に伴う発掘調査を 6 月 15 日より実施しています。これまで見つかっている遺構は、鎌倉時代と思われる柱穴や溝などを検出しています。このうち東西方向に走る幅約 3m の大溝から西側はほとんど遺構がなく、一方、反対側に当る東側で遺構がまとまって検出していることからすると、集落の境を示す溝と考えられます。

7 月上旬までの調査期間で新たな発見が見つかるものと思われますので、詳しい内容は次号で報告したいと思います。(平井)

## 入門講座が始まりました！

本年度も歴史入門講座が始まりました。本年度は『わたしたちの暮らしと遺跡』をテーマに、現代の暮らしと遺跡から発見されるモノの関係性や、考古学やその関連分野の研究成果から現代の生活との共通点などを取り上げております。

第 1 回目は「暮らしの中の<sup>こうこがく</sup>好古学」と題して開催いたしましたところ、48 名の方が受講いただきました。最近、話題になっている<sup>はしはか</sup>箸墓古墳や高松塚古墳などの古墳の入門的な話や古墳研究の最新の成果など、暮らしに関連づけた内容としました。

歴史入門講座は、今後、下記の日程で 5 回開催いたします。遺跡から出土した遺物を科学技術によって解明する方法や景観の復原、重要な遺跡が残る飛鳥の遺跡と共生する現代生活、そして琵琶湖と大昔の暮らしについて専門の先生方にお話いただきます。

ぜひこの機会に講座を受講していただき、現代の生活からかけ離れていると感じられている遺跡などの文化財、現代の生活と古代の生活との接点を感じてみるのはいかがでしょうか。心よりお待ちしております。

- 講座日程
- 第 2 回 7 月 18 日 (土) 「DNA 考古学—稲・小麦・メロンを中心に—」
  - 第 3 回 8 月 22 日 (土) 「出土木材から読み解く古代景観」
  - 第 4 回 9 月 19 日 (土) 「人がつくりだした景観を守る意義」
  - 第 5 回 10 月 17 日 (土) 「国のまほろば 飛鳥の遺跡とその活用」
  - 第 6 回 12 月 19 日 (土) 「水の浄土 琵琶湖と大昔の暮らし」

開催場所 市立埋蔵文化財センター 2 階会議室

開講時間 午前 9 時 30 分から正午まで

受講料 各講座は一回 200 円です。当日の受付時にお支払いいただきます。

お問い合わせは 守山市立埋蔵文化財センターまで